



2019年3月15日

各位

上場会社名 黒谷株式会社
 代表者 代表取締役社長 黒谷 純久
 (コード番号 3168 東証一部)
 問合せ先責任者 代表取締役副社長 井上 亮一
 (TEL 0766-84-0001)

2019年8月期第2四半期(累計)業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月15日開催の取締役会において、2018年10月12日に公表いたしました2019年8月期第2四半期累計期間(2018年9月1日～2019年2月28日)の連結業績予想及び、最近の業績動向を踏まえ、2019年8月期の連結業績予想数値を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年9月1日～2019年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,426	百万円 335	百万円 311	百万円 209	円 銭 14.61
今回修正予想(B)	25,834	△241	△255	△178	△12.54
増減額(B-A)	407	△576	△566	△388	
増減率(%)	1.6%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	28,031	969	953	627	43.76

2. 2019年8月期通期連結業績予想の修正(2018年9月1日～2019年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 51,691	百万円 754	百万円 714	百万円 484	円 銭 33.79
今回修正予想(B)	51,146	332	291	190	13.41
増減額(B-A)	△545	△422	△423	△294	
増減率(%)	△1.1%	△55.9%	△59.2%	△60.7%	
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	56,791	745	676	462	32.29

3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、前年度後半の米中貿易問題や米国の金利引上げ等から世界経済に不透明感が強まり市況環境が大幅に悪化、今年度に入ってから米中間の貿易摩擦の激化や世界経済の減速の動きにより、ロンドン金属取引所銅 Cash 価格ベース（以下 LME 銅価格）は、当社業績見通しの前提条件 6500 ドルから、期中平均で 6,122.2 ドル（前年同期比 10.6%減）、円ベース価格では 683.6 円（同 10.4%減）と低水準でもみあいの動きで推移いたしました。

このような状況から、当社の非鉄金属事業におきましては、インゴットは造船関連の受注環境が改善したことで販売量は増加、一方、給水設備関連は住宅市場の低迷もあり競争激化により減少したことで全体では前年同期比 5.2%の減少となりました。また、スクラップに関しましては製錬会社の炉修工事の影響減もあり前年同期比 5.9%の増加となり、非鉄金属事業全体では 2.8%の販売量増となりました。しかしながら、前述のように LME 銅価格が低価格で推移したことにより市場流通量が減少したことで、国内スクラップの需給バランスが逼迫し仕入れ価格が上昇、利鞘が悪化したため売上総利益が予想値を下回りました。売上高は前回発表予想を上回る見込みであります。営業利益、経常利益並びに、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回発表予想を下回る見込みであります。

また、通期予想につきましては、今回の外部環境悪化の主要因でありました米中貿易問題は改善方向、米国の金利引上げの動きも先送りとなり、足元、LME 銅価格も 6,500 ドル前後に上昇と改善の動きが見受けられ、下半期の前提条件は 6,300 ドル、為替を 107 円にて想定しております。しかしながら米中貿易摩擦などの影響で世界経済の成長は鈍化してきており、上期業績の影響から、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも下方修正いたします。

なお、今後も今回公表の業績予想との対比において業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに修正業績予想の開示を行うことといたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上